資料－2

様式Ｖ-5

活 用 効 果 評 価 結 果

技 術 名 称	高輝度蓄光式表示板
申 請 者 名	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所・(株)ウェブテックジャパン

事 後 評 価	従来技術に比べて活用の効果は同程度である。また、活用件数が少なく評価の信頼度については留意を要する。

成立性	○（技術として成立している）
優位性	従来技術と同等
安定性	－
現場適用性	－
留意事項など	・安定性、現場適用性については、活用実績が少ないため、評価できない。調査件数が集まり次第評価を行う。 「経済性」 ・従来技術に比べ向上する。 「工　程」 ・従来技術と同等である。 ・材料入手に時間を要する。 「品質・出来形」 ・自発光式（蓄光）のため従来のカプセルレンズ式表示板より外部照明等が無くても暗がりで見易く、視認性が向上 ・耐久性は確認されていない。 ・表示板の大きさ、文字の反射材の種類等の検討も必要。
従来技術	距離標
評価対象工事	平成１７年度　二戸国道維持工事

資料－3

様式Ｖ-5

活 用 効 果 評 価 結 果

技 術 名 称	フォームライトW（R-PUR工法）
申 請 者 名	ウレタン土木技術研究会

事 後 評 価	現場の適用範囲が十分検証されていないが、従来技術に比べて活用の効果は優れている。 また、活用の条件の違いによる評価のバラツキが小さい。

成立性	○（技術として成立している）
優位性	従来技術より優れる
安定性	高い安定性を有す
現場適用性	特に広いとまではいえない
留意事項など	**○設計比較対象技術に指定** **「経済性」** ・工期短縮等により施工費は安くなるが、材料費が高価であり、トータルコストとしては、従来技術と同等である。 **「工 程」** ・従来技術に比べて短縮が可能である。 **「品質・出来形」** ・中間床版、裏込めが不要であり、均一で安定した盛土体となる。 **「安全性」** ・地山整形等、重機作業の減少により安全性が向上する。 ・材料が第4石油類に該当する危険物であり、取り扱いに注意を要する。（火気厳禁） ・雨用の養生行った場合、換気が悪い。 **「施工性」** ・地山との一体性が良く、複雑な地山形状にも対応可能であり、施工性が良い。 ・中間床版、裏込めが不要であり、段取り替え等のロスが少なく、施工性が良い。 ・発泡後の温度変化に伴う収縮について管理が必要。 ・発泡後の温度変化に伴う収縮によりH鋼が傾かない様に、H鋼と壁面材の縁切りが必要。 **「環 境」** ・重機作業の減少により、騒音、振動が低減する。 **「代表的な活用理由」** ・狭隘、複雑な地山形状に対応するため。 ・既設構造物との取り合い部、ライフライン等地下埋設物件が存在したため。
従来技術	ＥＰＳ工法
評価対象工事	平成16年度 とびのす谷道路外1件工事 平成16～17年度 永野改良工事 平成15年度 鳥越改良工事 平成14年度 横野改良第2工事 平成14年度 西谷改良第2工事 平成14年度 とびのす谷工事用道路工事 平成14年度 一般国道12号 旭川市 忠和改良工事 平成13年度 とびのす谷工事用道路工事 平成12年度 芝原拡幅その2工事

資料－4

様式Ｖ-5

活 用 効 果 評 価 結 果

技 術 名 称	万能土質改良機による建設発生土再利用システム
申 請 者 名	株式会社コトー

事 後 評 価	従来技術に比べて活用の効果は同程度である。 ただし、活用の条件の違いによる評価のバラツキが小さい。

成立性	○（技術として成立している）
優位性	従来技術と同等
安定性	高い安定性を有す
現場適用性	評価基準に満たない
留意事項など	「経済性」 ・対象とする従来技術により以下のとおりである。 「残土処理＋購入土」に対しては優れる。 「石灰、セメント系固化剤による改良」に対しては同等程度。 「ﾊﾞｯｸﾎｳ混合」に対しては劣る。 「工 程」 ・従来技術と概ね同等。 「品質・出来形」 ・目的の品質を満足する、均一で安定した改良土の確保が可能。 「安全性」 ・処理機の石詰まり撤去等が人力手作業となり、注意が必要。 「施工性」 ・雨天、冬期等、処理土の含水比が高い場合施工できないが、夏期など含水比の低い状況では最大限性能が発揮される。 ・粒径100㎜以上の転石や木片等の異物を、事前に除去する必要がある。 ・粒度改善を行うことから、粒度の異なる土の確保が必要である。 「環 境」 ・単体では使用できない不良土の有効活用が可能である。 ・石灰・セメントによる改良ではないため、環境への影響がない。 ・築堤等、河川工事ではＰＨの心配がない。 「改良実績」 ・評価対象工事で改良を行った発生土は、「砂」「礫」「粘性土」「シールド2次処理土」「コンクリート殻」 「代表的な活用理由」 ・近接工事の発生土も含め、現場発生土の有効活用をはかるため。 ・高水敷の粘性土を築堤に利用するため。
従来技術	入れ替え工法（不良土処分・良質土購入）
評価対象工事	Ｈ16入間川上老袋築堤工事（従来技術 ： バックホウ混合） Ｈ16入間川出丸中郷築堤工事（従来技術 ： バックホウ混合） 大塚地区土質改良（その3）工事（従来技術 ： 石灰・セメント系固化剤による改良工） 太子橋地区緩傾斜堤防工事（従来技術 ： 石灰・セメント系固化剤による改良工） 前島地区土質改良工事（従来技術 ： 石灰・セメント系固化剤による改良工） 大塚地区土質改良工事（従来技術 ： 石灰・セメント系固化剤による改良工） 高槻鵜殿地区緩傾斜堤防工事（従来技術 ： 石灰・セメント系固化剤による改良工） 津之江地区築堤工事（従来技術 ： シールド2次処理土の産業廃棄物処理） 大東地区築堤工事（従来技術 ： 不良土処分・良質土購入） 大東地区築堤試験盛土工事（従来技術 ： コンクリート廃材産業廃棄物処理）